



校報

水糸者

No. 1300

元年度・第159号

みんな待っているよ!

～令和2年度新入学児童「1日入学」がありました～

本日の「1日入学」に、元気いっぱいの34名の新入学予定園児と保護者が来校し、種市小学校への入学に向けての打ち合わせを行いました。34名の子ども達は、4月の入学を心待ちにしている様子で、元気な声を響かせていました。



保護者会では、教育委員会や福祉課、保健センターさんからも説明いただき、入学に向けての確認や元気で明るい子に育むための確認なども行いました。

令和2年度入学予定の34名の元気な子ども達を、すっかりお兄さん・お姉さんとなった1年生がやさしくお迎えしました。

【校長の話「伸びる子と伸び悩む子の違いとは？」(要旨)】

「伸びる子」と「伸び悩む子」の大きな違いは次の3点に関係します。

①体力をつけましょう。

それには『早寝・朝起き・朝ごはん』に限ります。

②集団生活ができる道徳やマナーなどを身につけましょう。

あいさつ (おはようございます、いただきます…)

マナーやルール (ありがとうございます、ごめんなさい…。がまん)

意思表示 (手伝ってください、助けてください、〇〇が痛いです…)

③子どもと安心・安全な関係を築きましょう。

子どもとの日常的な関係が、良好なふれあいや円満な会話なら心配ないが、問答無用の指示命令が繰り返されている場合や親子のふれあいがなかったり、ゲームで過ごす時間が多い子は、「発達障がい」とよく似た「愛着障がい」だけでなく、「ゲーム障がい」で悩む子になる確率がかなり高くなります。

この①は脳と骨(幹と根っこ)の事で、②は非認知能力、③は信頼・絆の事です。①+②+③の合計が『自己肯定感』となります。

この3点ことに気をつけ、家庭・学校、地域で子育てしていきましょう。

*本校の教育活動の詳細については、ホームページもご覧ください。



体も耕す種小っ子

非日常的で多様な動きは子どもの体と頭を耕します

北国にも関わらず、スキーもスケートといったウインタースポーツを十分に学ぶ環境にない本校の子ども達は、冬季間の体育や遊びは一体どんなことをしているのでしょうか…

12日の『脳力の日』全校遊びの様子



待ちに待った積雪。校庭に積もった雪の上では雪合戦や雪上だるまさんが転んだ、鬼ごっこをする元気な種小っ子の歓声が響きます。こたつで丸くなっているのは「ねこ」さんだけです。

休み時間の種小っ子の姿



先日、寄贈していただいた「竹スキー」でさっそく遊ぶ子やミニ雪像を作っている子、雪の上でおしゃべりをしている子…。種小っ子は外遊びが大好きです。



昇降口近くには、誰が作ったのでしょうか、可愛らしい『くまの雪だるま』がありました。



小学校の時期は、運動調節をつかさどる小脳や平衡感覚をつかさどる三半規管、心肺機能やじん帯、骨強度など、人間の体の成長に欠かせない部位が発達します。これらの部位は小学校の時期を逃すと、なかなか発達しません。小学生が一輪車に上手に乗れたり、逆上がりができたりするのは、こんな理由があるのです。『小学校期＝黄金期』に多様な運動を繰り返すことや「五感」が刺激される生活の繰り返しは、脳の正しい発育にもつながる事です。体を耕す事は、脳を耕す事に直結しているのです。

感染症(インフルなど)にご注意を!

新型肺炎の拡大が国内でも発生しつつあります。

「不要不急の外出を避ける」、「丁寧な手洗い」、「マスク着用」はもちろんですが、体の抵抗力を低下させないために「早寝・早起き・朝ごはん」が最も大切な予防策となります。